

わがまち再発見!!

シリーズ 文化財の紹介

対馬市教育委員会 文化財課
☎0920(54)2341

『村寄り』

わたしたちが住む対馬の多

くの村々は、古い歴史を持ちながら、村の規約・規定・申し合わせを話し合いによって決定し、様々な自主的体制・慣わしを作り守ってきました。

そして、それらの規定が大きな影響を及ぼし、地域住民の生活や仕事に規制を強いられている面もありました。その決定機関が「村寄り」といわれるものでした。

「村寄り」は、古くから、村のまとまりや統一を保持し、暮らしに係わる諸行事など、どう進めるのか、みんなが合意決定していく為の重要な機関でした。

明治維新後、日本の近代化が進む中でも、対馬の村々は

旧藩時代の体制や慣行を引き継いできた典型的な社会だったのです。

しかし、第2次世界大戦後、村の構成が大きく変わり、経済的社会的変動や民主主義により、村寄りの基盤は崩れ、必要無くなったとされました。

そして、現在では地域の集落で集まり協議する場は少なく、年に1・2度しか集まらないという集落も少なくありません。

このようなことから、個人主義となり地域のまとまりがつかず、集団での活動も鈍くなってきたところもあるので、はないでしょうか。

人口減少が続く対馬の小さな集落では、年々独居老人・老人世帯の占める割合が大きくなっています。いま、この「村寄り」と言う制度を現代

版に置き換え、定期的に集まり、話し合いを重ねることで、肩を寄せ合いながら助け合いの集落活動が可能になるのではないのでしょうか？

今一度、「村寄り」制度を再考し、試してみる時期に来ているのかもしれない。



12月の休館日

■ 休館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

つしま図書館情報

つしま図書館 ☎0920(52)3900

- 「暮れの大掃除方法のアイデア」や「ちょっと変わったおせち料理方法」など、年末におすすめの本をご用意しています。

今月のおすすめ新着本

『風に立つライオン』

さだ まさし／著

1988年、ケニアの戦傷病院で働く日本人医師・航一郎のもとへ担ぎ込まれた少年兵ドゥングに生きる希望を与える。2011年3月、医師となり被災地石巻を訪れ…。

『悩むこと生きること』

姜 尚中／監

姜尚中が、喪失を乗り越え、ときにやさしく、ときに鋭く、いのちのこと、日本のこと、世界のことを綴ったコラム集。『信濃毎日新聞』夕刊コラム「今日の視角」をまとめて書籍化。

『布で作る地蔵と縁起物』

ブティック社／編

にっこり微笑んだお地藏さま、愛らしいうさぎのお地藏さま、フクロウ、招き猫、お守り袋、縁起物や身近な小物の作り方を紹介。作り始める前の基礎知識も掲載。

『あいすること あいされること』

宮西 達也／著

ずるがしこくてきらわれもので、ひとりぼっちの恐竜トロオドンが、おおきなたまごを見つけ生まれるまでのストーリー。ティラノサウルスシリーズ。

『小学館の図鑑 たんけん! 海のひみつ』

小学館NEO／著

海の世界のあつと驚く地形や生き物から、深海生物、環境問題まで、様々な海のひみつを迫力のある写真とイラストで解説する。

『うぶめ』

京極 夏彦／著

弟か妹が生まれてくるのを楽しみにしていたのに、弟も妹も生まれてこなかった。ある夜、赤ん坊の声がし、外をのぞいてみるとそこには妖怪が… 悲しい出会いの絵本。